土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　砂防指定地内河川　上布野川　通常砂防事業に伴う地質調査・設計業務委託（交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor. No. 5	**調査位置**	広島県三次市布野町上布野　地内			**北緯**	34° 53′ 17.6591″
発注機関	広島県北部建設事務所			**調査期間**	2023年 10月 27日 ～ 2023年 11月 6日	**東経**	132° 46′ 58.8105″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 286.17m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 18°	**使用機種**	**試錐機**	東邦地下工機　DD-C
総削孔長	12.00m								**エンジン**	ヤンマー　NFD-9	**ポンプ**	東邦地下工機　BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	285.82	0.35		火山灰		暗褐				黒ボク。軟らかい粘性土であり，粗粒分は含まない。かなり有機質である。	
	285.22	0.95		玉石混じり砂礫		暗褐灰				マトリクスが黒ボク質な粗砂からなる砂礫。土石流堆積物に相当。玉石分はL=17cmで採取される。	
1				玉石混じり砂礫		淡褐	rd3		新生代第四紀	土石流堆積物に相当。 玉石分はL=8～25cmぐらいのものが多く，最大のものはL=38cmに達す。 その他の礫分は大径の岩片状をなすことが多い。 礫種は流紋岩質岩からなり，溶結凝灰岩と粗粒の非溶結凝灰岩が半々ぐらいで混じる。 いずれも硬質である。 マトリクスは細礫質の粗中砂からなり，弱い固結度を認める。 指圧で崩すのは容易でない程度の固さである。 マトリクスと玉石・礫分の量比は，後者が深度方向に漸増する（上方細粒化相）。 貫入試料の含水は1mから高いが，掘削水が浸水している可能性が高い。 2mの貫入試験は第1区間の打撃数が小であるが，試料に挟み層等の異物は認めない。 間違いなく砂礫層である。	10/31 湧水
2											
3											
4											11/06 7.40
5											
6											
7											
8	277.57	8.60		流紋岩質凝灰岩		暗褐灰			中生代白亜紀	概ね円形コア形状をなすが，網目状に割れ目が密集しており，本質的には角礫状コアである。 岩片は中硬質な硬さを保つ。 割れ目沿いに風化および酸化変色を伴うことが多い。 【CL級岩盤，軟岩Iに相当】	
9											
10	275.67	10.50		流紋岩質凝灰岩		淡黄灰				小破砕帯で，断層角礫岩の組織が明瞭，分布角度は65°。完全に再固化しており，弱線をなすものではない。 【CL級岩盤，軟岩Iに相当】	
	275.47	10.70		流紋岩質凝灰岩		暗褐灰				割れ目沿いの砕片化・風化がやや強い，角礫状コアを呈し，岩片は脆い，特に上位の破砕帯に近い所は軟質とも言える。【CL級岩盤，軟岩Iに相当】	
11	275.02	11.15		流紋岩質凝灰岩		暗灰				割れ目沿いの劣化は少し収まり，大径の角礫～岩片状コアが主体をなす。岩片の風化程度は弱く，中硬質以上の硬さを示す。ただし，少し安定に欠いた感がある。【CL級岩盤，軟岩Iに相当】	
12	274.17	12.00		流紋岩質凝灰岩							
13											
14											
15											
16											
17											

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
12	1.15	4	4	4	12/300		
	1.45						
13	2.15	1	8	4	13/300		
	2.45						
21	3.15	5	8	8	21/300		
	3.45						
32	4.15	7	12	13	32/300		
	4.45						
	5.00	貫入不能			50/0		
	5.00						
107	6.15	7	43		50/140	140	
	6.29		40				
24	7.15	7	8	9	24/300		
	7.45						
115	8.40	32	18		50/130	130	
	8.53		30				
750	9.00	50/20			50/20	20	
	9.02						
	10.00	貫入不能			50/0		
	10.00						
	11.00	貫入不能			50/0		
	11.00						
	12.00	貫入不能			50/0		
	12.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					10/27
					10/30
					10/31
					11/1
					11/2